

2026年 年頭のごあいさつ

あ

けましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、
お健やかに新春をお迎えのことと、心
からお慶び申し上げます。

昨年は、本町の健康と福祉の里構想
のシンボル、そして、拠点施設であり
ます「健康福祉センター」がグランド
オープンし、また、「町立図書館」が
活動を高く評価されて文部科学大臣賞
を受賞するなど、本町にとって、未来
につながる明るい話題が数多くありま
した。

文化・スポーツ活動では、4月に開
催された県縦断駅伝競走大会において、
白鷹町から7人の選手が出場し、長井・
西置賜チームとしては、総合5位とな
り8年ぶりに入賞を成し遂げるなど、
多くの方が、県大会、東北大会、そし
て、全国大会に出場され、数々の輝か
しい成績を収められております。これ
らの活躍は町の誇りであり、町民に喜
びを与えていただきました。

一方、昨年の夏は、異常気象と言え
る猛暑が全国的に続き、本町において
も、異常気象による高温・少雨に伴い、
農作物の渇水被害が心配されたことか
ら、緊急支援に取り組んだところであ
ります。

このような中、白鷹町議会は、議会の
総意として、「緊急事故時の対策」
や「教育環境の充実」、「コメ政策等へ
の対応」などについて政策提言を町長
に提出しました。このように、議会と
しまして、定例会等の審議のみなら
ず、政策提言等を行いながら、より良
いまちづくりを進めてまいります。そ
して、議員の資質の向上を図りながら、
町民の皆さまの負託に応える議会運営
を目指すとともに、町民の皆さまの声
やご意見を町政に反映していく所存で
ありますので、今後ともご理解とご協
力をお願いいたします。

少子高齢化、そして、人口減少が進
み、長引く物価高などが、未だなお町
民生活や町内産業に影響を及ぼしてい
る中ではありますが、60年に一度の「丙
午（ひのえうま）」の今年は、多くの
町民の方が力強くご活躍され、飛躍す
るとともに、情熱と行動力で最大限の
成長を成し遂げる年になることを期待
するものであります。

結びに、新しい年が活力に満ちあふ
れ、町民の皆さまが健康で笑顔で暮ら
せる素晴らしい年となりますようご祈
念申し上げます、新年のご挨拶とい
たします。

「町民の皆さまにとって

活力に満ちた一年になりますように」

白鷹町議会議員

菅原 隆男

迎春

あ

けましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、
新春をお健やかに迎えのこととお慶
び申し上げます。

さて、昨年においては、第6次総合
計画後期基本計画の下、新たな一步を
踏み出した年でありました。12月6日
に健康福祉センターがグランドオープ
ンを迎え、世代を越えて子育てや健康
づくりのために「集まりつながる新た
な拠点」として整備されました。町民
の皆さまからのご要望を踏まえまして、
トレーニングルームや、カフェを併設
した町民交流スペース、ベビールーム
などを新設。つながりやコミュニティ
を生み出す多世代交流を目的として、
お子さんから高齢の方までが健康づく
りや子育てなど多様な目的で利用いた
だけの施設となりました。今後は、デ
ジタル技術も活用しながら、この施設
の機能を最大限に活かし、幅広い世代
にご利用いただける町の拠点となるよ
う、指定管理者と連携しながら取り組
んでまいります。

また、ふるさと森林公園の町民保養
センター等施設の老朽化への対応と新

たな観光施設としての展開を目的に、
「白鷹町ふるさと森林公園再整備基本
構想」に基づき、現在は実施設設計に取
り組んでおります。そして、施設の整
備とともに、心と体の健康づくりと地
域の賑わいづくりにつながる「白鷹
ウエルネスツーリズム」を実現すべく、
方向性と推進体制の構築を進めてまい
ります。

本年につきましては、町の将来像の
実現に向け、重点4分野である「人づ
くり」「産業・経済」「地域力」「定住化」
を施策の柱として引き続き着実に進め、
持続可能なまちづくりを目指してまい
ります。

特に、重点プロジェクトとして掲げ
る「持続可能な人口対策」として、多
様な人材確保に向けて新たな人の流れ
を形成する取組や、子育ておよび若者
世帯の希望を叶える環境の整備や支援、
魅力的な地域づくりへの支援など、こ
れまで実施してきた対策をさらに前に
進めていく所存でございます。

結びに、町民の皆さまにとって本年
が幸多き一年となることを心からお祈
り申し上げます。

「すべての世代がいきいきと暮らし、
魅力あるまちづくりを目指す」

白鷹町長 佐藤 誠七